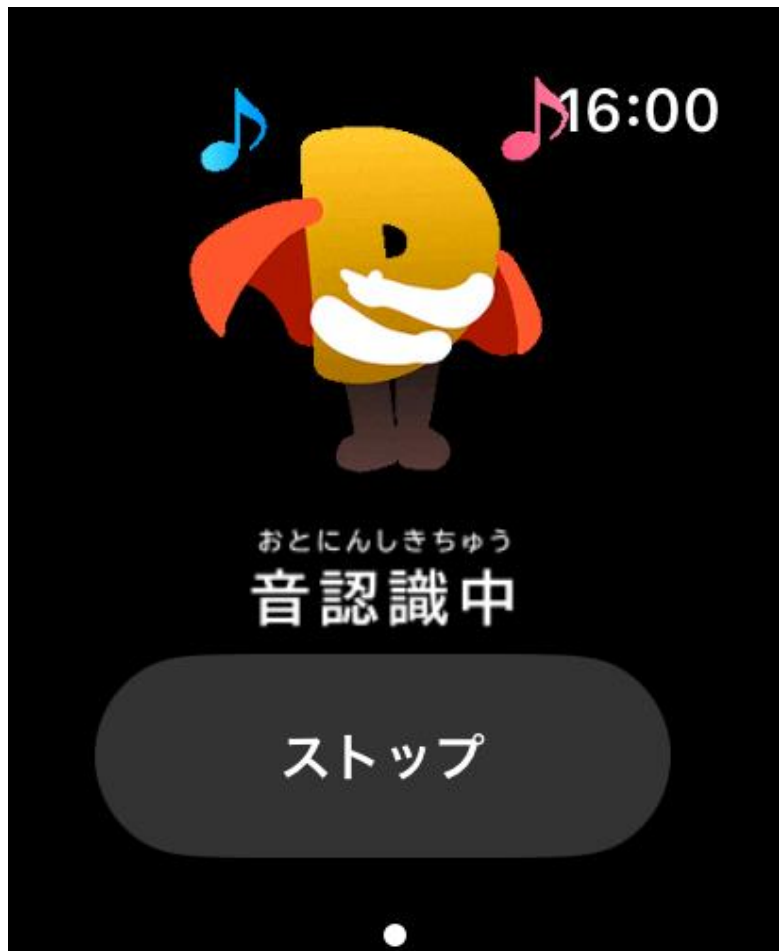


16. TDI株式会社 D-HELO

<p>機器・サービスの概要</p>	<p>身の回りの音を認識して、ユーザーに通知することができるApple Watchアプリです。</p>
<p>機器・サービスの機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活の危険(緊急時のアラート)をろう・難聴者に分かりやすく伝えることで、生活の質を向上させることに貢献しています。 ● 常時、身につけることのできるウェアラブル端末のアプリのため、ユーザーは腕から通知(振動)を直接感じることができ、音に気づきやすくなります。
<p>情報アクセシビリティの配慮内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートウォッチアプリという限られた画面サイズの中で利用者の操作性を損なわないために、必要最小限の機能を選定し、イラストで伝える等の工夫をしています。 ● 音を通知する際の振動の回数、種類の変更ができることで、利用者毎に気づきやすい設定を選択可能にしました。
<p>問合せ先</p>	<p>音の見える化プロジェクトサポート窓口 < support.sound-display/atmark/g.tdi.co.jp > (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。</p>



当事者ニーズを
踏まえた開発

- 実証実験では、ろう・難聴者の方々約50名にご協力いただき、実際の使用感やご意見を直接開発に反映しました。
- 例えば「バイブレーションが弱く、通知に気づけない」という貴重なフィードバックをいただきました。これを受け、本アプリではバイブレーションの種類や振動回数をユーザー自身で設定・変更できるように改善しました。

企業としての
組織的な取組

- 2020年より「音の見える化プロジェクト」として聴覚障害者が社会参加しやすい環境を促進するための活動を実施しています。本製品以外にも聴覚障害者向けのスマホのアプリを開発しています。

審査結果の概要



振動通知による周囲の状況を知

- 緊急車両の接近をスマートウォッチの振動で通知することで、視覚に頼らず周囲の状況を把握できる点が高く評価されている。聴覚障害者が移動中に必要とする情報を的確に伝えることで、日常生活における安全確保に寄与している。



ウェアラブル端末の特性を活かした高い利便性

- スマートウォッチの振動を活用することで、スマートフォン等の画面を見ずに周囲の状況を把握できる点や、アプリを起動していなくてもバックグラウンドで動作する利便性が評価されている。Apple Watch 単体で完結するため、手軽に装着して利用できるユーザビリティの高さも支持されている。



当事者参加型の開発と具体的な機能改善

- ろう・難聴者約50名が参加する実証実験を実施し、「振動が弱い」といった当事者の具体的なフィードバックを基に、振動の種類や回数を設定できるよう改良するなど、ユーザーの声を真摯に反映した開発プロセスが評価されている。